

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隔月で面談を実施する際、事業所自己評価を基にした個人評価表を使用する。 ・ 地域やスタッフからの意見は、随時、年間計画に反映させ、期限を決めて計画的に改善を目指す。 ・ お誕生日のお祝いは、見守り支援活動と月単位で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人評価表を作成し、ほぼ隔月で面談を実施し、事業所評価を振り返った。 ・ 地域、スタッフからの声に対して、タスクリストを作成して取り組んだ ・ 地域の高齢者の誕生日のお祝いは、見守り支援員と共同で行えた。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タスクリストの期限を決めていないことがあった。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーを守るために、噂話は控えていただくように声かけし、必要であれば、「相談」として話を聞くなど、公的な場であることに配慮する。 ・ 来所者を受け入れる時間を決める。(10:30～11:30 14:00～15:30) ・ 屋外での活動を増やし、スタッフが間に入って、利用者と来所者の会話のきっかけを作る。 ・ 消毒液やポスターをわかりやすい場所に設置し、手洗いうがい等の重要性を、地域の方にも啓発していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の来所された際の会話について、不利益を被る場合は、控えていただくように促した。 ・ 掲示板を活用し、来所者を受け入れる時間帯や催しの周知を行った。 ・ ご利用者と洗濯物を干したり、昼食を食べたり、ラジオ体操を実施したりするなど、庭を活用して外から声をかけてもらう機会を作った。 ・ 感染症が流行る時期には、特に手洗いうがいの声かけを意識して行い、ポスターの掲示を行った。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 噂話への対応について、「相談」として聞けていない。慎重に関わるべきケースもあり、得た情報を具体的な行動に移せていない。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が集まる場は、老人会活動やサロン活動をバックアップすることで作る。 ・ 「世話になる場所」ではなく、「自分でできることを助ける場」であることを周知する。 ・ たから主催で行うのではなく、老人会、見守り支援活動、いまきら園、学校などとの連携を大事にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会活動や見守り支援活動に参加し、本人同士の交流を促した。 ・ 機関紙を通して、ご利用者の普段の自分でできることをされている姿や様子を発信した。 ・ 地域の行事には積極的に参加し、地域の高齢者にも参加を促す声かけをした。また、遊食会を地域の方の協力を頂き、実施できた。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体の行事には参加したが、協働で行うことが少なかった。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフが出向くことで、心配な高齢者とのつながりを作っていく。 ・ たからスタッフは本人のニーズに気付き、適切に地域資源とつなげ問題解決を行う。 ・ 田畑や果樹を高齢者の活躍の場として利用し、高齢者同士や若い世代との交流を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おすそ分けやお礼など、日常生活でのことを生かし、関わりを持った。 ・ 地域の困りごと（資源ごみ・台風対策）を、地域で解決する仕組みを作った。 ・ スタッフ自身が、一緒に農作業をし、高齢者の活躍の場を作れた。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの関わりがあった方以外との新しい交流の機会は少なかった。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題を話し合う場として、必要に応じて、関係する方に声をかけ、会議の場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の困りごと（資源ごみ・台風対策）を、地域で解決する仕組みを作った。 ・ 議題ごとに、多くの方に参加していただくことで、地域の方も高齢者の現状を知る機会になった。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の雰囲気として、意見が出しにくい。より意見の出しやすい場にしていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中に近隣教員との関係づくりの場を設ける。 ・ スタッフは隔月で災害時の動き方について確認、シミュレーションする。 ・ 消防団との情報共有を定期的に行い、緊急時の動き方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中に顔合わせを兼ねた食事会を実施できた。 ・ 隔月で様々なシチュエーションでの避難訓練を実施した。 ・ 消防団との情報共有は、参加、協力いただいた訓練の際に行えた。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報共有を、定期的には行っていない。